

Pour venger la mort de son fils,  
tué par un chauffeur,  
se  
il  
trac  
sa  
l'ha  
abjec



9.13 Que la fête commence  
9.20 juste avant la nuit  
9.27 La rupture

un film de  
Claude Chabrol



g.  
leg.  
Quil  
sdag  
n. Maar  
par hotta  
h ein grote  
huis zijn  
vertellen  
bel je  
regnet.

新文芸坐シネマテーク vol.29

最強最高のクロード・シャブロール | 前期

09.13 野獣死すべし / 09.20 一寸先は闇 / 09.27 破局

新文芸坐

Medie  
Tokyo

©ARTEDIS

## 野獣死すべし

Que la bête meure

9.13[金]

1969 / 仏=伊 / 107分



監督・脚本:クロード・シャブロール / 脚本:ポール・ジェゴフ / 原作:ニコラス・ブレイク / 撮影:ジャン・ラビエ / 音楽:ピエール・ジャンセン / 出演:ミシェル・デュショーンワ、カロリーヌ・セリエ、ジャン・ヤンヌ

シャルル・テニエは一人息子をひき逃げで失って以来、その復讐に取り憑かれる。彼は脚本家のフリをして、息子を轢いた車に乗っていた女優に接近する。その女優が運転手であったなら、シャルルは彼女を殺すつもりでいた。だが、彼女の家族を知れば知るほど、彼らに対する親愛の情もまた膨らんでいくのだった。

## 一寸先は闇

Juste avant la nuit

9.20[金]

1971 / 仏=伊 / 102分



監督・脚本:クロード・シャブロール / 原作:エドワード・アタイヤ / 撮影:ジャン・ラビエ / 音楽:ピエール・ジャンセン / 出演:ミシェル・ブーケ、ステファヌ・オードラン、フランソワ・ペリエ

広告代理店に勤めるシャルル・マツソンは、親友である建築家フランソワの妻ローラと浮気していた。SMプレイに耽っていた二人だったが、シャルルはうっかりローラを絞殺してしまう。警察の捜査は一向に進展しないが、妻と愛する二人の子供と共に暮らすシャルルは、良心の呵責に次第に耐えられなくなっていく。

## 破局

La rupture

9.27[金]

1970 / 仏=伊=ベルギー / 120分



監督・脚本:クロード・シャブロール / 原作:シャーロット・アームストロング / 撮影:ジャン・ラビエ / 音楽:ピエール・ジャンセン / 出演:ステファヌ・オードラン、ジャン＝ピエール・カッセル、ミシェル・ブーケ

ある朝、精神的な病を抱えるシャルルは錯乱して妻のエレーヌと息子に暴力をふるった。シャルルの裕福な父親はそれがエレーヌの責任だとして彼女を咎める。エレーヌは病院で治療を受ける息子のため、その近くの下宿屋に滞在するが、シャルルの父親に雇われたポールが彼女を陥れるべく様々な罠を張り巡らす。



### クロード・シャブロール

Claude Chabrol

1930年6月24日、パリ生まれ。父親は薬剤師で、彼も薬学を専攻した。アンドレ・バザン時代の「カイエ・デュ・シネマ」で映画批評を書き始め、ゴダールやトリュフォーらと出会う。1956年、妻の祖母の遺産を元手にジャック・リヴェットの短編『王手飛車取り』を製作。さらに自らの監督デビュー作『美しきセルジュ』を発表した。続く第2作『いとこ同士』と共に批評的にも興行的にも大成功を収めた。その後も数多くの作品を発表したが、敬愛するサスペンスの巨匠ヒッチコックにならって、その殆どがサスペンスやミステリ映画であった。代表作は『不貞の女』『野獣死すべし』『肉屋』『血の婚礼』『ヴィオレット・ノジュール』『主婦マリーがしたこと』『沈黙の女』『石の微笑』『刑事ベラミー』など多数。2010年9月12日にパリにて死去。

### 新文芸坐シネマテーク vol.29

## 最強最高のクロード・シャブロール | 前期

	開場	開映	終映	
9.13[金]	18:45	19:00	20:45	野獣死すべし
9.20[金]	18:45	19:00	20:40	一寸先は闇
9.27[金]	18:30	18:45	20:45	破局

各日、映画終了後に映画批評家・大寺真輔さんの講義が60分程度ございます(講義終了22:00頃)

### 特別料金

一般 1900円 / 学生 1800円 / 前売・シニア・友の会 1700円  
当館の9月からの料金改定にともない、シネマテークの料金も変更させていただきます。

「最強最高のクロード・シャブロール | 後期」は近日開催予定!



### 大寺真輔

映画批評家、早稲田大学・日大芸術学部講師。「キネマ旬報」「文学界」「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」などで映画批評を執筆。著書に「現代映画講義」など。Indie Tokyo主宰。

※整理番号付き前売券は当館窓口・チケットぴあで8/10(土)より一斉発売(Pコード:550-298)  
※当日は整理番号順でのご入場となります  
※招待券使用不可



共催:IndieTokyo



上映情報をいち早くお届け!メールマガジン配信中  
新文芸坐シネマテークをはじめとする企画上映や海外の映画情報、映画レビューを隔週でお届けしています。購読料は無料。



登録はこちらから